

東北地方 1か月予報

(10月9日から11月8日までの天候見通し)

平成16年10月8日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

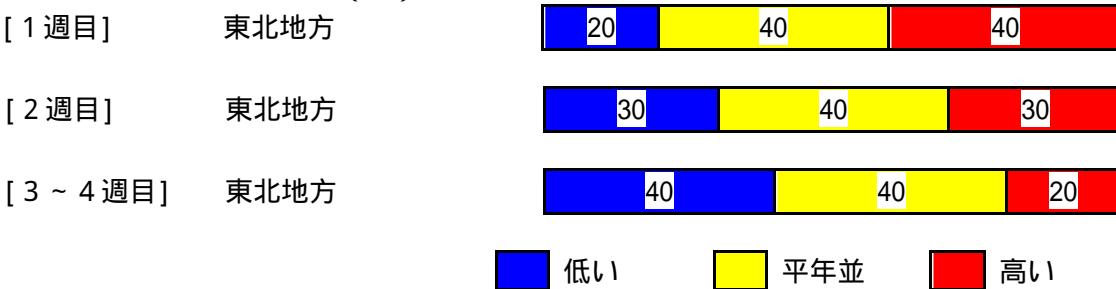
向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か高く、2週目は平年並、3~4週目は平年並か低いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月 9日(土) ~ 11月 8日(月)

1週目 : 10月 9日(土) ~ 10月 15日(金)

2週目 : 10月 16日(土) ~ 10月 22日(金)

3~4週目 : 10月 23日(土) ~ 11月 5日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月15日

3か月予報：10月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	12.3	131.3	149.5	14.5	13.1	11.3
新庄	10.6	166.1	96.9	13.1	11.6	9.5
若松	11.4	71.6	116.7	14.1	12.4	10.2
深浦	11.8	159.3	122.0	14.1	12.7	10.8
青森	11.0	115.1	141.4	13.3	11.9	9.9
むつ	10.7	112.4	152.5	12.9	11.6	9.6
八戸	11.1	75.8	162.5	13.5	12.1	10.0
秋田	12.0	164.2	135.2	14.3	12.9	10.9
盛岡	10.1	99.0	145.3	12.6	11.0	9.0
宮古	11.7	99.1	158.3	13.8	12.5	10.7
酒田	13.1	183.1	131.2	15.4	14.1	12.1
山形	11.5	74.8	129.0	14.0	12.5	10.4
仙台	13.3	88.3	155.3	15.5	14.2	12.3
石巻	12.6	94.2	162.3	15.0	13.6	11.6
福島	13.2	83.9	143.8	15.6	14.1	12.1
白河	11.7	93.0	150.8	13.9	12.5	10.7
小名浜	14.7	131.3	162.4	16.8	15.5	13.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6~+0.4	83~111	96~105
東北日本海側	-0.6~+0.4	90~107	95~105
東北太平洋側	-0.5~+0.5	68~120	96~106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.6	-0.7~+0.5	-0.7~+0.6
東北日本海側	-0.7~+0.6	-0.7~+0.6	-0.7~+0.6
東北太平洋側	-0.7~+0.6	-0.7~+0.6	-0.6~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 16 年 10 月 8 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (10 月 9 日 ~ 11 月 8 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目 (10 月 9 日 ~ 10 月 15 日) :

明日 (9 日) から明後日 (10 日) にかけて台風第 22 号や前線の影響で大荒れの天気となるおそれがあるでしょう。その後は東北太平洋側を中心に晴れの日が多いですが、東北日本海側では寒気の影響で曇りの日がある見込みです。なお、最新の台風情報に注意してください。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目 (10 月 16 日 ~ 10 月 22 日) :

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目 (10 月 23 日 ~ 11 月 5 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

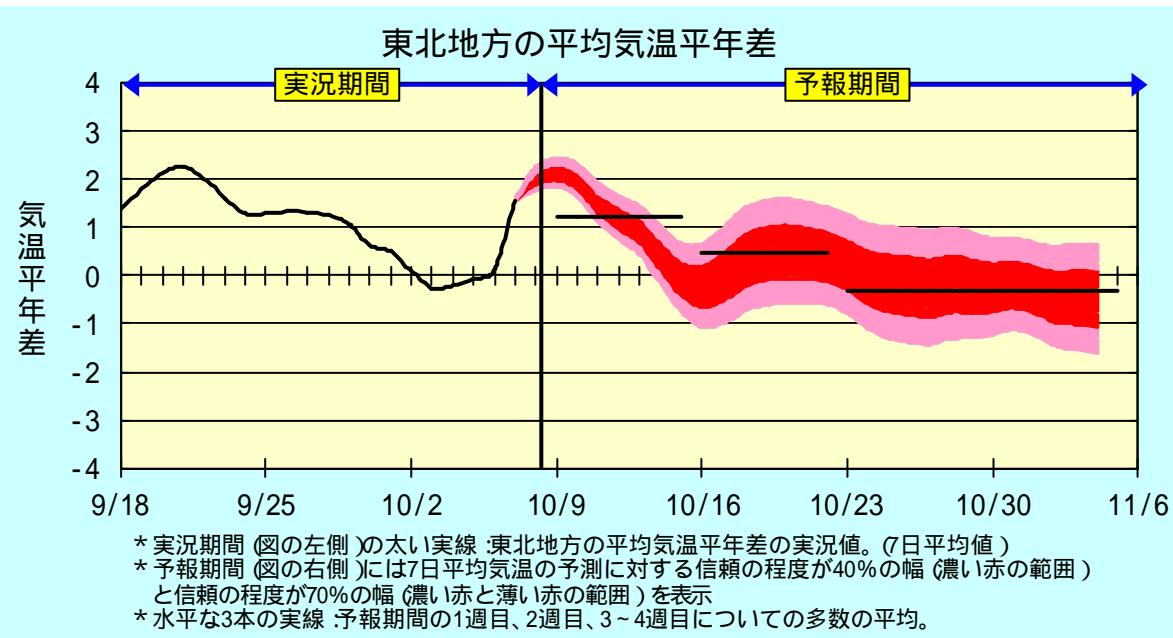
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3~4 週目
東北日本海側	12.9 日	3.3 日	3.5 日	6.1 日
東北太平洋側	16.7 日	3.9 日	4.1 日	8.7 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「高い」、2週目、3~4週目を「平年並」と予想している。予報は、その他の資料から1週目を「平年並か高い」、3~4週目を「平年並か低い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

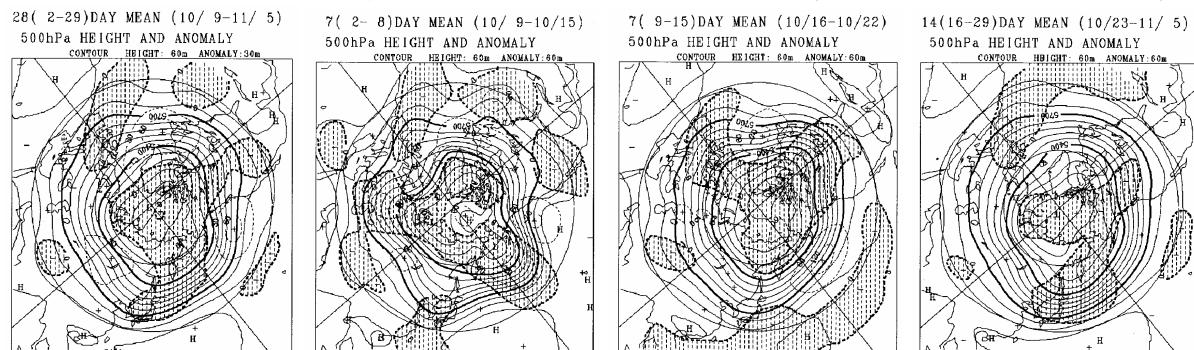


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、オホーツク海付近が気圧の谷となって日本付近は負偏差に覆われるが、亜熱帯高気圧の勢力が強く日本の南は帶状の正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変化する。ただし、予想のばらつきは大きい。

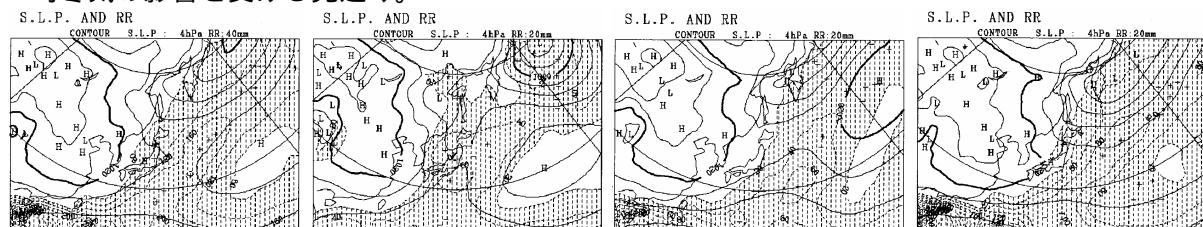
1週目は、日本の西が気圧の谷となって負偏差域が西日本にかかる。2週目は、日本の南に広がる負偏差が東日本にかかるが、北日本は帶状の正偏差に覆われる。3~4週目は月平均と同様。



地上気圧と降水量：

月平均では、中国大陸の高気圧が日本付近に張り出し、アリューシャンには低気圧が予想される。日本の東海上にはまとまった降水域が見られる。

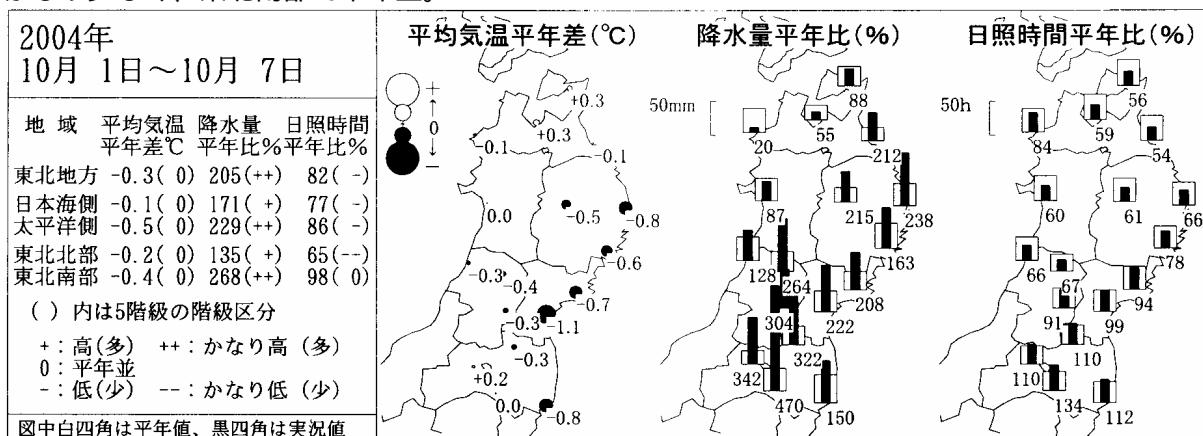
1週目は、日本付近が低圧部となり、台風第22号によると見られるまとまった降水域がかかる。2週目は、等圧線の間隔はまばらで、天気は数日の周期で変化する。3~4週目は、大陸の高気圧が日本付近に張り出し、北海道付近まで低圧部となる。東北地方は弱い冬型の気圧配置となり、一時寒気の影響を受ける見込み。



4. 最近1週間（10月1日～10月7日）の天候の経過

2日に寒冷前線が東北地方を南下し、6日にかけて前線は本州南岸に停滞した。このため、期間の中頃は曇りや雨となったが、期間の初めと終わりは高気圧に覆われ晴れる日があった。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)